



## 子牛の防寒対策をしましょう

冬場の低温環境下では、牛は体温の低下を防ぐため代謝を活発にしてエネルギーを多く消費します。しかし、**子牛は成牛に比べて採食量が少ないことや、皮下及び体脂肪が少ないことに加え、内部温度が40℃の「天然カイロ」と言える第一胃も未発達であるため、寒さには弱いと**言われています。寒さは子牛の体力を低下させ、免疫力低下により様々なウイルス、細菌などの病原体に感染しやすくなるため、**防寒対策が重要**です。

一般的に牛舎に使用されるコンクリート床は熱伝導率が高く、**真冬に子牛が直に触れるとすぐに体温が奪われて**しまいます。

一方、ノコクズや稲ワラ等は断熱効果が高い敷料ですが、**糞尿などで濡れていると気化熱で子牛の体温が奪われる**こととなります。さらに、敷いてから時間が経つと子牛の寝起き等で敷料がお腹の周りから広がり薄くなり、せっきくの断熱効果が低くなってしまいます。

今回、これら問題を解決する正方形の木枠に敷料を入れたシンプルな**子牛ベッド（生後3か月程度まで）**を紹介します。

### 子牛ベッドの利点

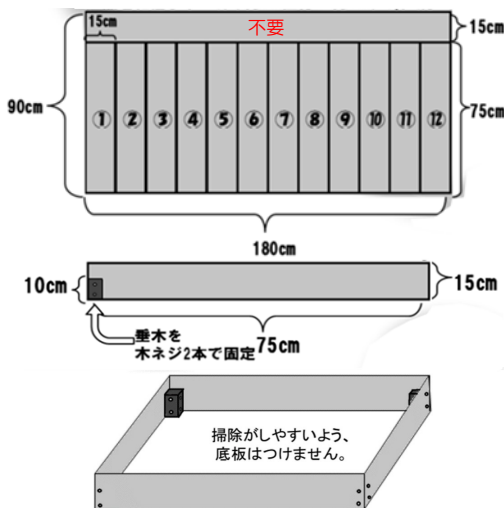
- ◆ コンクリート床からの冷気を遮断し、保温性が高い  
→子牛のお腹の冷えを防止
- ◆ 子牛のお尻が木枠の外に出る  
→ベッドが糞尿で汚れにくく衛生的
- ◆ 敷料の節約

腹が冷えんばい



【材料（ベッド3個分）】

- コンパネ（180cm×90cm）…枠造り
  - 垂木（4.5cm×4.5cm×180cm）…四隅補強
  - 木ネジ（45mm）…垂木固定
- ※全てホームセンターなどで入手可能



①コンパネを12分割（75、80cm×15cm）する。左図の上部は不要

※肉用牛75cm、乳用牛80cm

②分割したコンパネ4枚で四角の枠を作成し、補強するための長さ約10cmの垂木を4隅に打付けて完成（底板は不要）

### 【注意事項】

- 枠の高さを低くしすぎない（15cm程度）  
→子牛の出入りが多くなり敷料が掃き出される
- 枠のサイズを大きくしすぎない（75cm四方程度）  
→子牛が枠内で排泄して保温効果が低下する
- 適切なベッド設置場所  
→母牛がベッドに入らないようにベッドを竹などで仕切る



仕切られたベッドで休息する子牛

～使用者の声～ 繁殖牛15頭飼育 F氏

- ほとんど子牛ベッドの上で休息し、しっかり寝るようになった。
- お腹を冷やすこともなく、下痢などはかなり減った。
- 軟便になっても直りが早かった。
- 材料費が安くコスト削減が図られた。
- 今回はモミ殻を使ったが、次はノコクズと比較してみたい。



参考：肉用牛経営を改善する成績向上法

# 令和4年度の高病原性鳥インフルエンザ発生状況

【国内における発生状況 1月4日時点】

	例数	発生都道府県
家きん	23道県54事例 国内の家きん発生事例過去最多	岡山県、北海道、香川県、茨城県、和歌山県、兵庫県、鹿児島県、新潟県、宮崎県、青森県、宮城県、千葉県、福島県、鳥取県、愛知県、佐賀県、山形県、広島県、沖縄県、埼玉県、福岡県、長崎県、群馬県
野鳥	20道県132事例	※内九州は4県72事例 鹿児島県、宮崎県、長崎県、 <b>熊本県</b>

## 【熊本県の状況 ～野鳥～】

12月9日、玉名郡長洲町で回収されたクロツラヘラサギについて遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことから、同月12日付で回収地点を中心とした半径10kmが野鳥監視重点区域として指定されています。

## 春節期間等の防疫対策をお願いします

新型コロナウイルス感染症の水際対策が緩和されたことから、2023年1月の春節時期は昨年よりも諸外国との人や物の動きが活発になると考えられます。家畜伝染病が発生している国に渡航予定がある方は、国内への病原体侵入防止のため、以下の点にご留意ください。

- ☑畜産関連施設（家畜市場、農場など）に立ち入らない
- ☑動物と不用意に接触しない
- ☑肉製品を日本に持ち込まない
- ☑やむを得ず家畜のいる場所へ立ち入った方は、帰国後、空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り、家畜防疫官の指導に従う



動物検疫所HPより

### 【参考】

2018年以降、違法に日本国内に持ち込まれた肉製品を検査した結果、アフリカ豚熱ウイルスの遺伝子陽性が106事例（令和4年11月30日時点）確認されています。検査証明書のない肉製品は日本に持ち込むことができません。海外に家族や知人がおられる方は、小型包装物、小型郵便（国際郵便）で未検査の肉製品等を日本に送らないようお願いいたします。

## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生日月
高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）	H5N1	韓国	肉用アヒル（13件）	令和4年12月1日～令和4年12月31日
			種アヒル（4件）	令和4年12月3日～令和4年12月18日
			肉用鶏	令和4年12月10日
			採卵鶏（13件）	令和4年12月3日～令和5年1月2日
			地鶏	令和4年12月29日
アフリカ豚熱	H5N2	台湾	家きん（17件）	令和4年11月～令和4年12月
			家きん（9件）	令和4年8月～令和4年12月
アフリカ豚熱		韓国	豚（5件）	令和4年9月18日～令和4年11月9日
			野生いのしし（73件）	令和4年9月～令和4年12月

令和5年(2023年)1月4日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

